



この度、5月の定期大会において、中央執行委員長に就任いたしました関谷と申します。皆様どうぞよろしくお願いたします。

新執行部体制として5月からスタートしたわけですが、今まで以上にホームページを活性化させたいという教育宣伝部のやる気を無駄にしないためにも、なるべく多くのコラムを掲載できるよう頑張ります。

「都民ファーストの会の圧勝で終わった東京都議会議員選挙」

7月2日に行われた東京都議会議員選挙は、都民ファーストの会圧勝という結果になりました。この結果に、改めてメディアの影響力の凄さを感じました。

今思えば、舛添前都知事の辞職による当時の東京都知事選挙は、組織対個人という構図の中、個人で選挙戦を戦ってきた小池氏の圧勝という結果になりました。当時はメディアが取り上げやすい劇場型選挙を展開したことで「小池劇場」などと言われていましたが、一人で組織に立ち向かう姿に、誰もが小池知事の凄さ、カリスマ性を感じたのではないのでしょうか。私もそう感じた一人でした。

小池知事の人气が急上昇すると、今まで敵対視していた政治家やメディアも、次々と小池知事の人气に肖ろうと歩み寄ってきましたが、それはあまり良い光景とは思えなかったのも事実です。その姿に、信念の無さや個性の無さを感じたものでした。

その小池知事の人气をメディアも後押しした結果が、今回の都議会議員選挙での都民ファーストの会圧勝という結果につながったのだと思いますし、都民ファーストの会が東京都を見事に成長させていく組織となることに、都民は当選した議員以上に期待していることを、獲得票が物語っています。

この一連の流れの中で、小池都知事以外の都民ファーストの会はどのような組織なのか、あまり見えて来ないと私は感じていますが、東京都議会第一党となる都民ファーストの会が、大きすぎる期待に押しつぶされないことを願いつつ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを楽しみにしている一人として、その成功を願っています。